RD06191K

施工説明書

2-7597-01
2009.10

TOTO

小型電気温水器

湯ぽっとキット
RE06SKN型, RE12SKN型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意

安全のために必ずお守りください

取付工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
この施工説明書では、商品を正しく取り付けていただき、使用者への危害や財産への損害および工事者への危険を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示は、次のようになっています。内容をよく理解して正しく取り付けてください。

表示	意味
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示については次の意味があります。

絵表示	意味	絵表示	意味	絵表示	意味
	一般的な禁止		アースを接続せよ		必ず実行

取付工事完了後、施工説明書に記載の「試運転」に従って各部の点検を行い、器具のガタつきや漏電・水漏れなど安全上の不具合がないことを確かめてください。

商品に同梱されている「取扱説明書（保証書付）」は、使用者に商品を正しく安全に使用していただくための重要な書類です。紛失したり汚れたりしないように大切に保管し、工事完了後、使用者または建築工事責任者にお渡しください。
なお、保証書には必要事項を必ずご記入ください。

⚠警告

分解禁止	修理技術者以外の人は、この説明書に記載された項目以外は絶対に分解・修理・改造は行わない （感電や故障の原因になります。）
一般的な禁止	指定する電源以外では使用しない（ヒーターの断線・火災などの原因になります。）
	電源コードの加工（切断・継ぎ足し）を行わない（感電・火災の原因になります。）
	屋内用のため、屋外には設置しない（感電や故障の原因になります。）
	水・油・洗剤などがかかる位置に電源プラグ用のコンセントを設けない （感電の原因になります。）
	コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントに差し込まない （火災の原因になります。）
浴室シャワーなど水滴での使用禁止	水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには使用しない （感電や故障の原因になります。）
必ずアース線を接続せよ	電気工事は、関連する法令、法規に従って必ず「有資格者（電気工事士）」が行い、アース（D種接地工事100Ω以下）工事を行う また、漏電遮断器を取り付ける （誤った工事を行うと故障や漏電の時に感電するおそれがあります。）

⚠ 注意

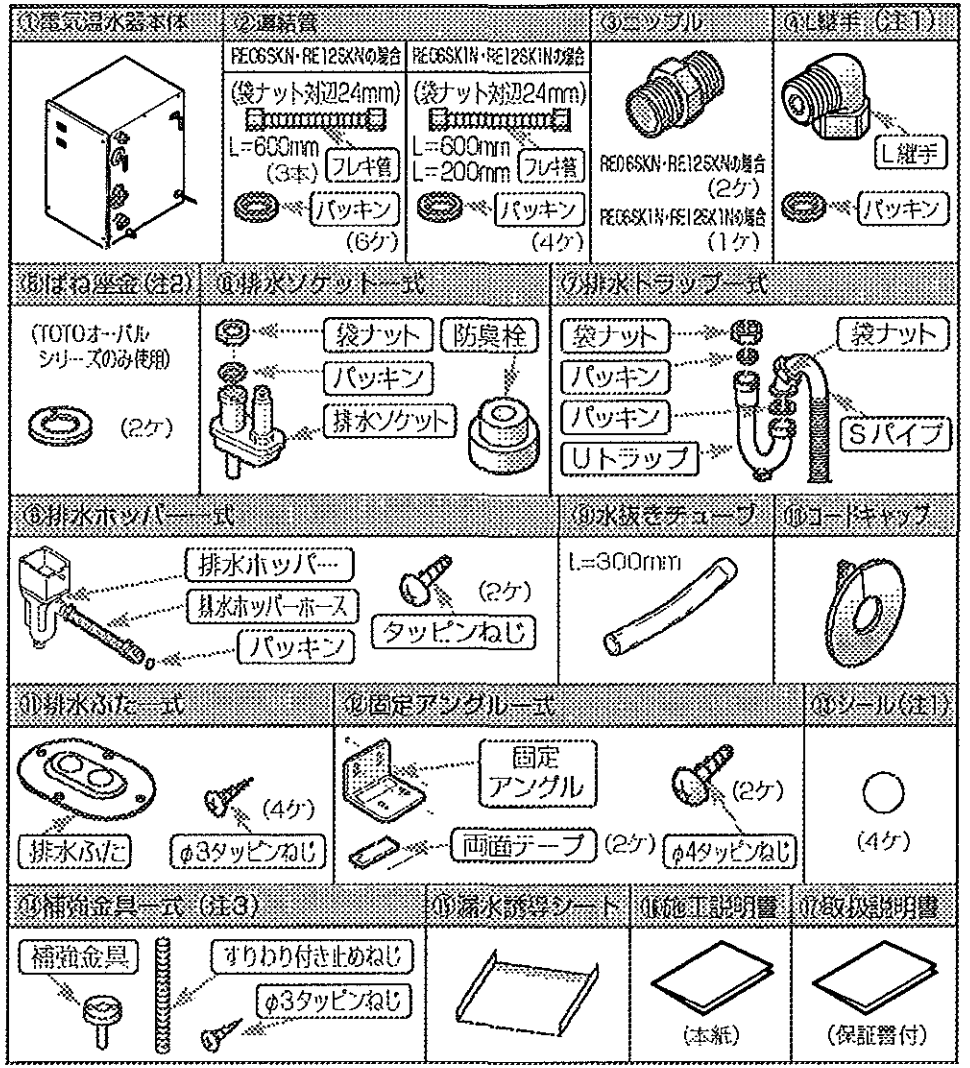
禁止	タンクが空のときは、絶対に電源スイッチを入れない （空焚きとなり、故障や事故の原因になります。）
	水道水以外は、通水しない （井戸水などを通水すると腐食などにより水漏れするおそれがあります。）
	商品に強い力や衝撃を与えない（故障や水漏れの原因になります。）
必ず実行	給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開けバケツ2杯（約20L）程度の水を捨てる （フィルターを通ったゴミが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。）
	凍結のおそれがある場合は、電源プラグを抜いてタンク内の湯を抜く 「18 機器内の水抜き方法」を参照ください （凍結破損し、水漏れのおそれがあります。）
	必ず連結配管内の水抜きがスムーズにできる勾配で取り付ける （凍結した場合、破損し水漏れするおそれがあります。）
	水抜きを行うときは、必ず電源スイッチを「切」にする （空焚きとなり、故障・やけどの原因になります。）
	必ず湯水が混合できる先止め水栓を取り付ける （高温の湯が出てやけどの原因になります。）
	フィルター付き止水栓の掃除をする際は、いきなりふたをゆるめずに、止水栓を閉めてから行う （水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。）

お願い

- 給水圧力は0.05～0.75MPa（自動水栓との接続の場合0.1～0.75MPa）です。
  この圧力の範囲内でご使用ください。
  （0.05MPa未満で使用すると流量が少なくなります。）
- 必ずフィルター付止水栓（必要別売品）を取り付けてください。
- 自動水栓と組み合わせて使用する場合は出湯量が少なくなる場合があります。
- シャワー水栓との組み合わせはできません。（十分なシャワー感が得られません）
- 取扱説明書の保証書に、お買い上げ店または、工事店名およびお取付日を必ず記入してください。
- 空焚き、施工上の不具合は当社では責任を負いかねます。万一施工に起因する不具合が生じた場合は、貴店の保証規定によって修理していただくようお願いいたします。
- コンセントは、接地用端子の付いた接地極付コンセントを取り付けてください。

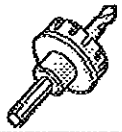
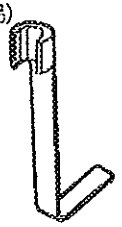
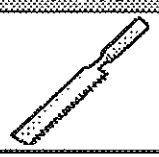
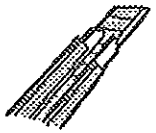
2 部品の確認

施工前に必ず部品を確認してください。



注1：RE06SKN・RE12SKNには同梱していません
注2：RE06SK1N・RE12SKN・RE12SK1Nには同梱していません
注3：RE06SKN・RE06SK1Nには同梱していません

3 準備する工具

電動ドリル	ホルソー	プラスドライバ	袋ナット締付専用治具
			TZ15L TZY15N (別売品) 
ノコギリ	**カッター**	**スパナ**	
		 (対辺24mm)	

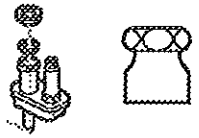
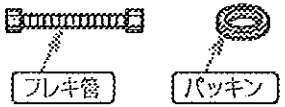
4 洗面化粧台取付可否一覧

湯ぽっとキットを取り付けるための洗面化粧台の条件

- キャビネット内に湯ぽっとキットの設置が可能なスペースがあることを確認していただき、さらに下記の条件をみたしていることを確認してください。

(1) 洗面化粧台の間口が6Lは600mm以上、12Lは750mm以上。
(2) キャビネット底板に設置するため、満水時の商品質量に耐える強度が必要です。
キャビネット底板の強度が不足している場合は、底板を補強してください。
(3) 湯水が混合可能な水栓。
〔単水栓の場合は、混合栓への取り替えが必要になります。
また、シャンプー水栓は、湯量などの問題で取り付けることができません。〕
(4) 排水トラップが床排水タイプ。(Sトラップφ32mm)
(5) キャビネットが両開き扉タイプ。

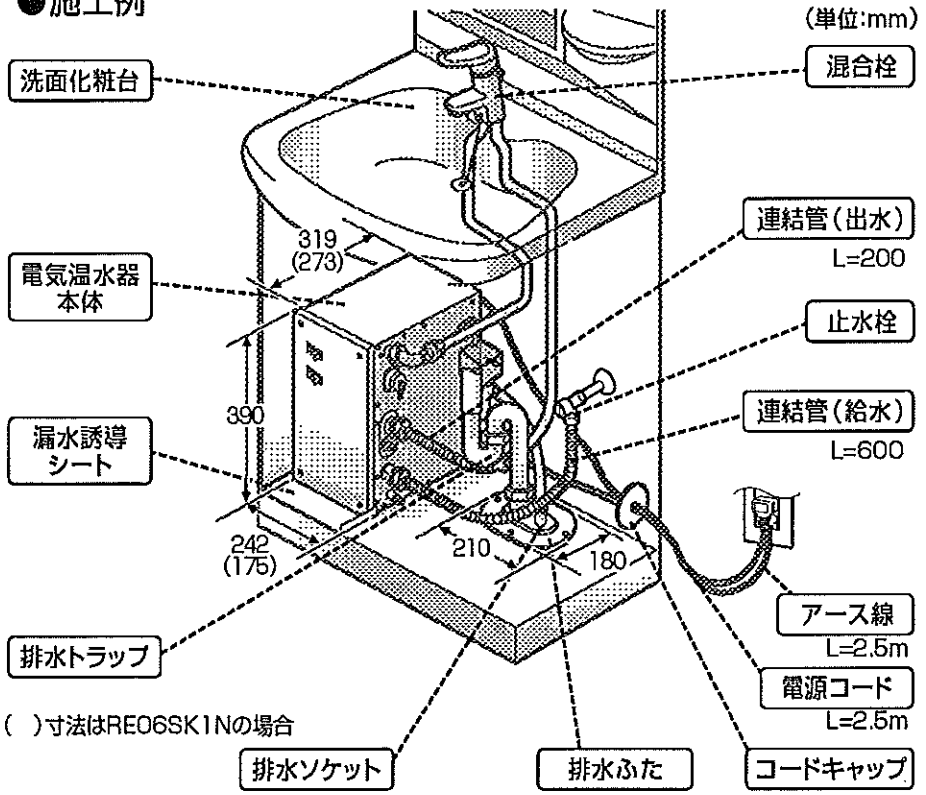
5 別売品一覧

品名	品番	数量	形状	用途
排水ソケット	TH5000D1	1		集合住宅用 〔一般住宅用にも使用できます〕
連結管 (L=850mm)	RHE140	1	(袋ナット対辺24mm)  フレキ管　パッキン(2ケ)	標準の連結管の長さ(600mm)で足りない場合に長尺タイプを用意しています

6 各部の名称・寸法

●施工例

(単位:mm)

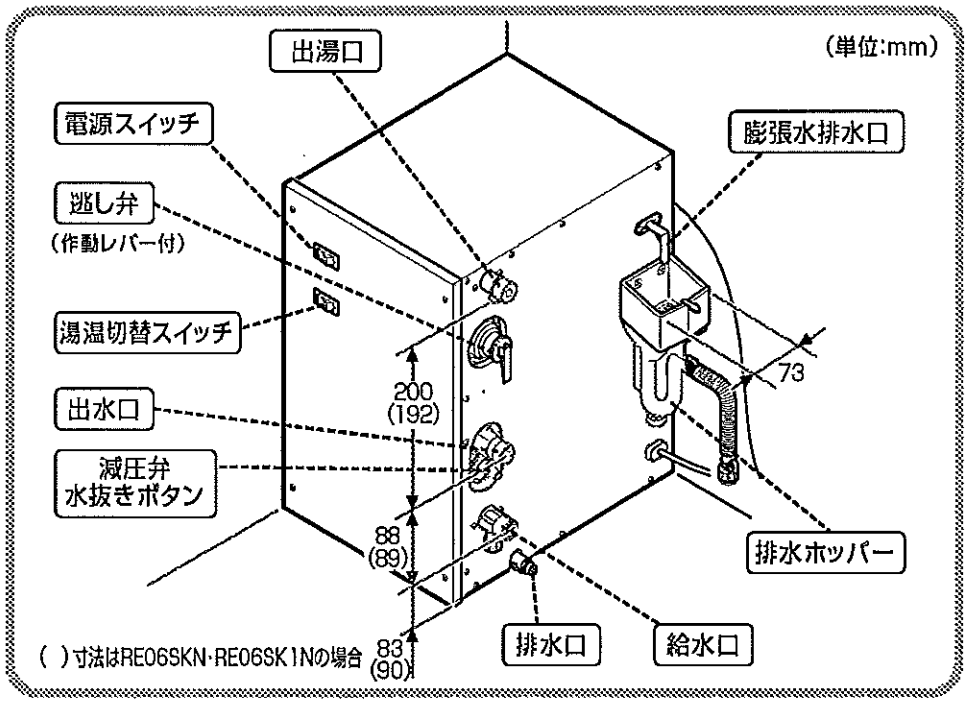


( )寸法はRE06SK1Nの場合

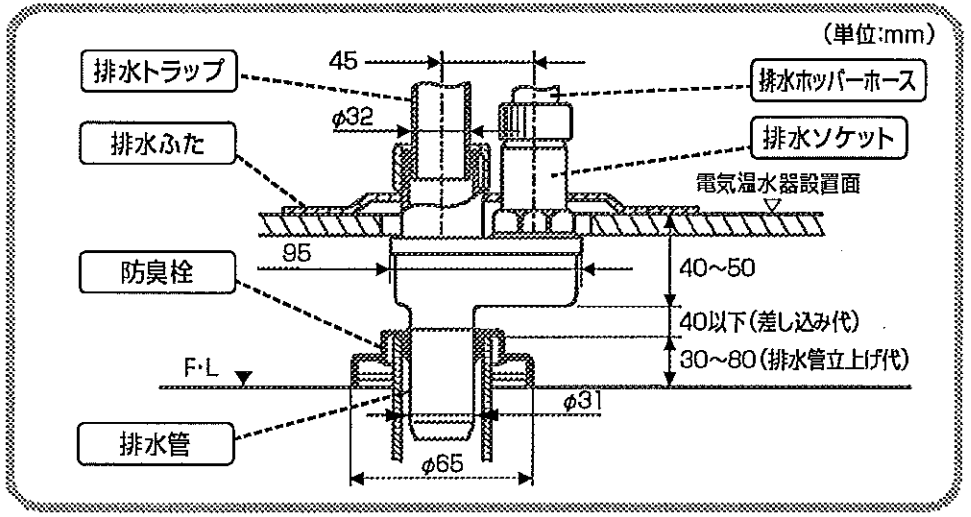
●仕様

項目＼機種	RE06SKN・RE06SK1N	RE12SKN・RE12SK1N
電圧(50/60Hz)	600W	505W
貯湯量	約6L	約12L
沸き上がり温度	約60℃(約75℃切替可)	
沸き上がり時間(給水温約15℃)	約30分(15℃→60℃) (約50分)(15℃→75℃)	約1時間20分(15℃→60℃) (約1時間40分)(15℃→75℃)
商品寸法(幅×奥行×高さ)	175mm×273mm×390mm	242mm×319mm×390mm
商品質量( )内は満水時	約6kg(約12kg)	約8kg(約20kg)
給水方式	先止め式(減圧弁・逃し弁内蔵)	
安全装置	温度過昇防止器(手動復帰式バイメタル)	
使用水圧	0.05～0.75MPa	
使用可能雰囲気温度	1～40℃(凍結不可)	

●本体部



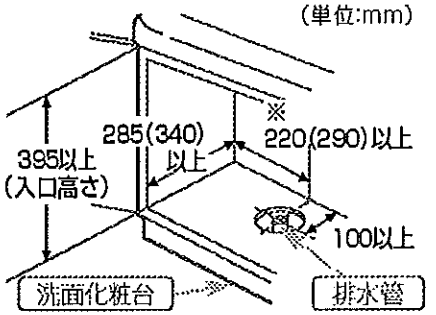
●排水部



7 施工前の確認

1) 設置スペースの確認

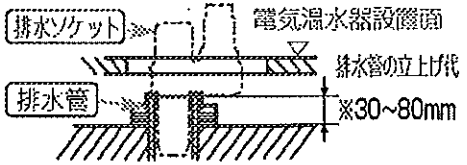
湯ぽっとキットの設置には、下記のスペースが必要です。



※湯ぽっと横幅+45mm(排水ソケット取り付けに必要なスペース)
※( )内の寸法はRE12SKNの場合

2) 排水管立上げ代およびスペースの確認

排水ソケットを取り付けるため、排水管の立上げ代および電気温水器設置とのスペースは、下記寸法が必要です。



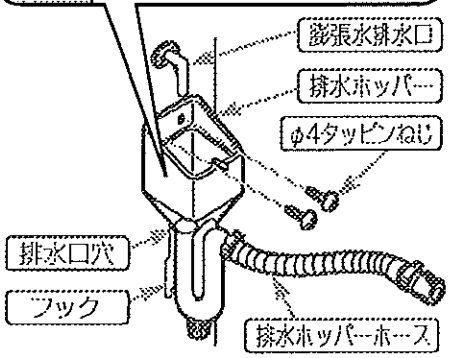
※防臭栓を取り付けるため、最低30mm以上必要。

8 前作業

1) 施工前に既設の連結管および排水配管を取り外す。

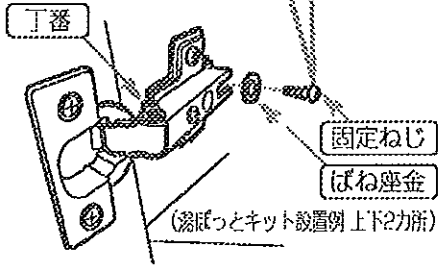
2) 排水ホッパーを電気温水器本体に取り付ける。

注意 排水ホッパーの排水口穴センターが膨張水排水口のセンターに合うように取り付けてください。



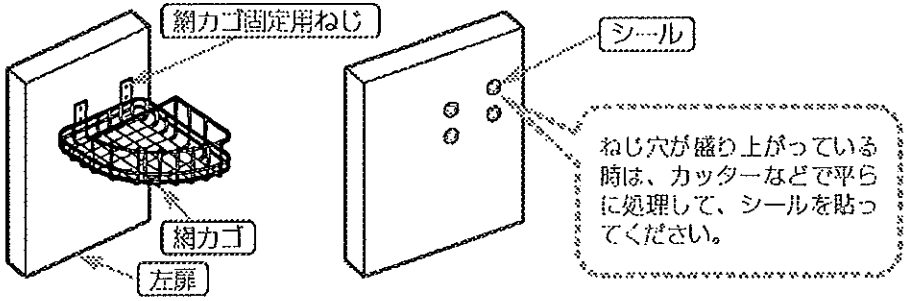
3) TOTOフィーバルシリーズに湯ぽっとキットを取り付ける場合、緩み防止のため、洗面化粧台扉の丁番に同梱のばね座金を取り付ける。(RE06SKNの場合)

《取り付け方》
①丁番の固定ねじを外す。
②同梱のばね座金を取り付け固定ねじを締め付ける。
※洗面化粧台の右側に張り付けてある調整ラベルにしたがい、扉の調整を行ってください。



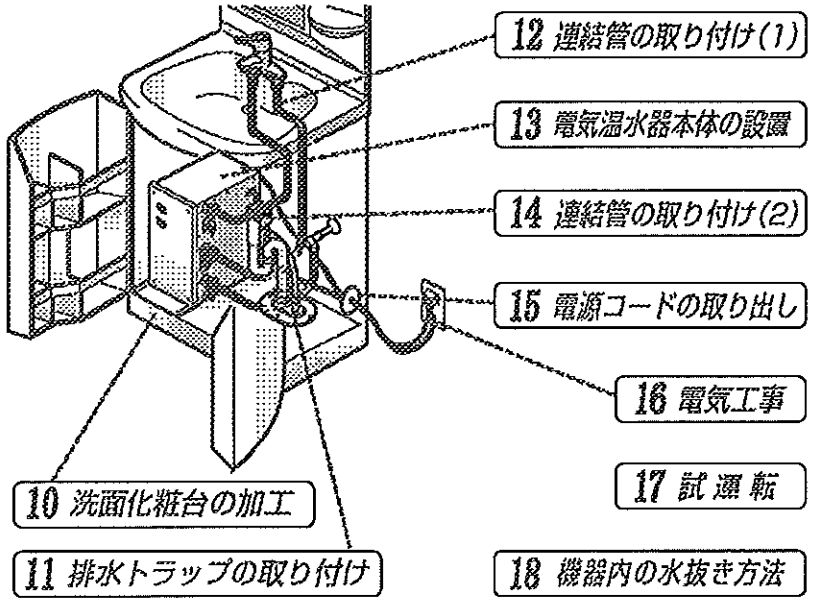
4) TOTOリモデアに湯ぽっとキットを取り付ける場合は下記内容に注意して取り付ける。

- 給水圧力は0.1～0.75MPaです。
- 左扉裏面の網カゴを取り外してください。
  ※網カゴは付属部品ですので取り付けていない場合もあります。
- 網カゴを固定していたネジ穴には付属のシールを貼ってください。



9 施工図

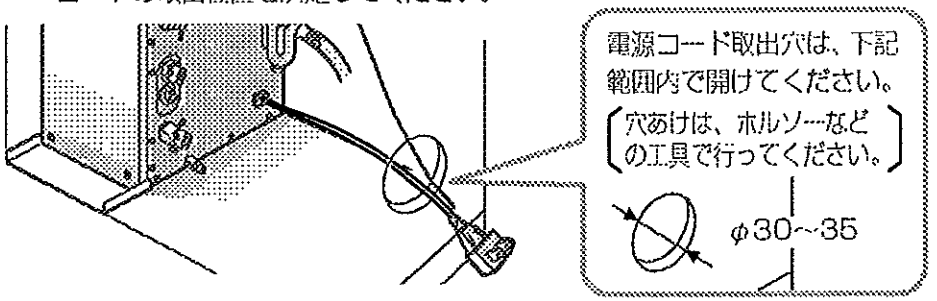
この施工図は、施工例です。
湯ぽっとキットの取り付けは、洗面化粧台により異なります。



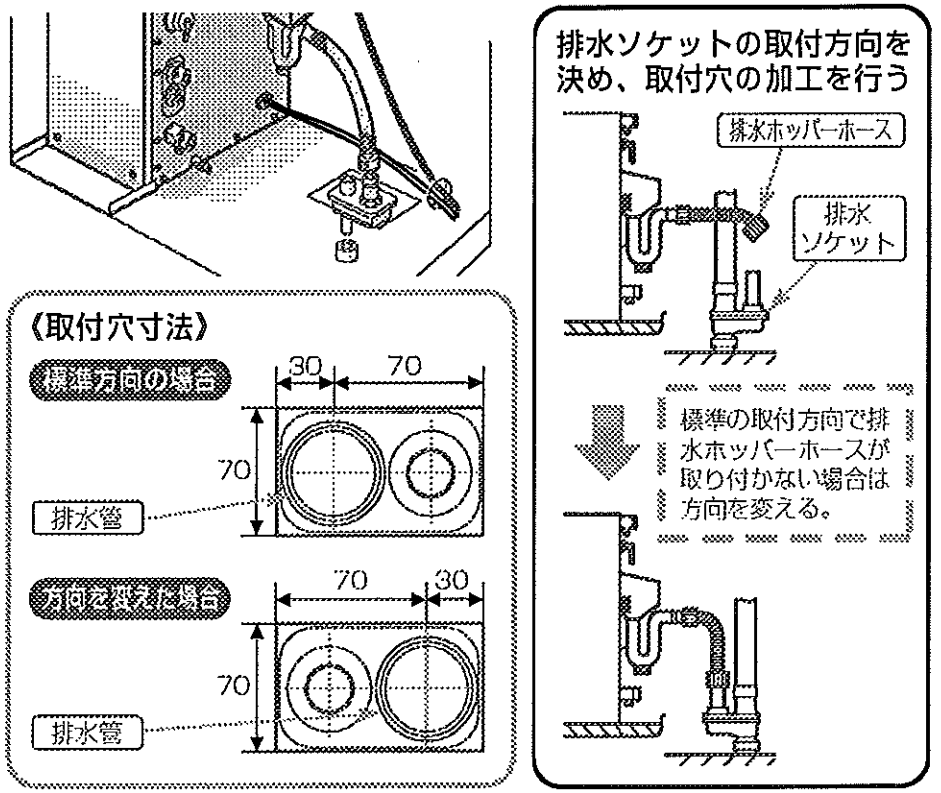
10 洗面化粧台の加工

1) 電源コード取出位置の確認および取出穴の加工

電気温水器本体を洗面化粧台に仮置きし、排水ソケットの取付方向および電源コードの取出位置を決定してください。



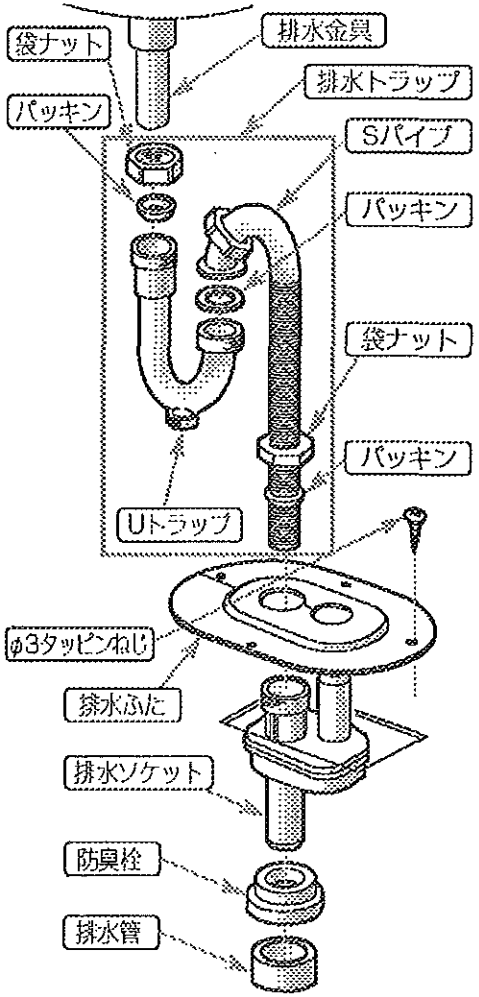
2) 排水ソケット取付方向の確認および取付穴の加工



11 排水トラップの取り付け

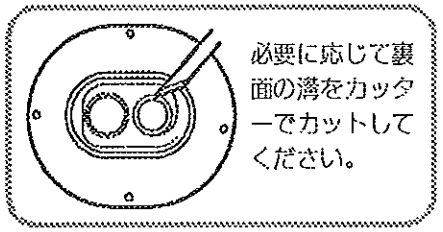
下記の手順で同梱の排水ソケットおよび排水トラップを取り付ける。

TOTOの洗面化粧台（オーバルシリーズ以外）に取り付ける場合は、既設の排水トラップをそのまま使用してください。

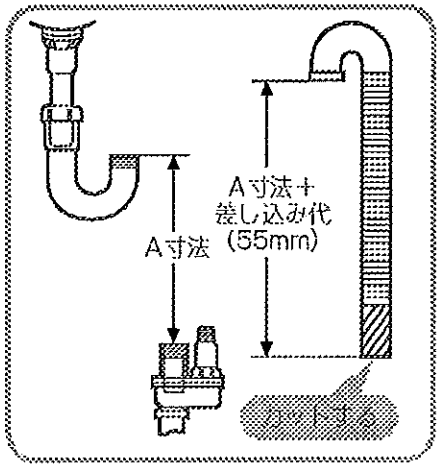


①防臭栓を排水ソケットに取り付け、排水管に差し込む。

②排水ふたを取り付ける。（φ3タッピンねじ・4ケ）



③Uトラップを排水金具に取り付け、Uトラップと排水ソケット間の寸法を測定しSパイプをカットする。



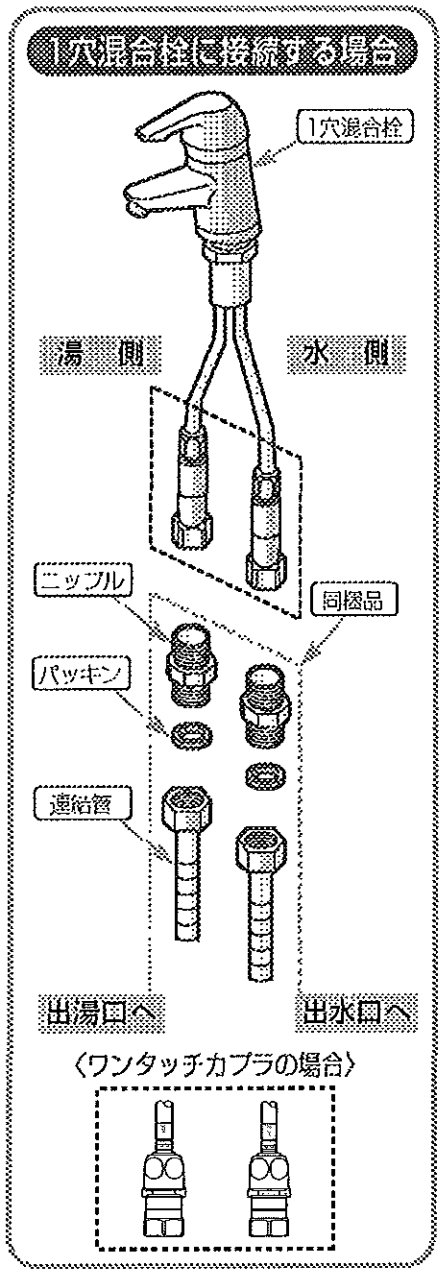
④Sパイプに袋ナットパッキンを入れ、Uトラップ、排水ソケットに取り付ける。

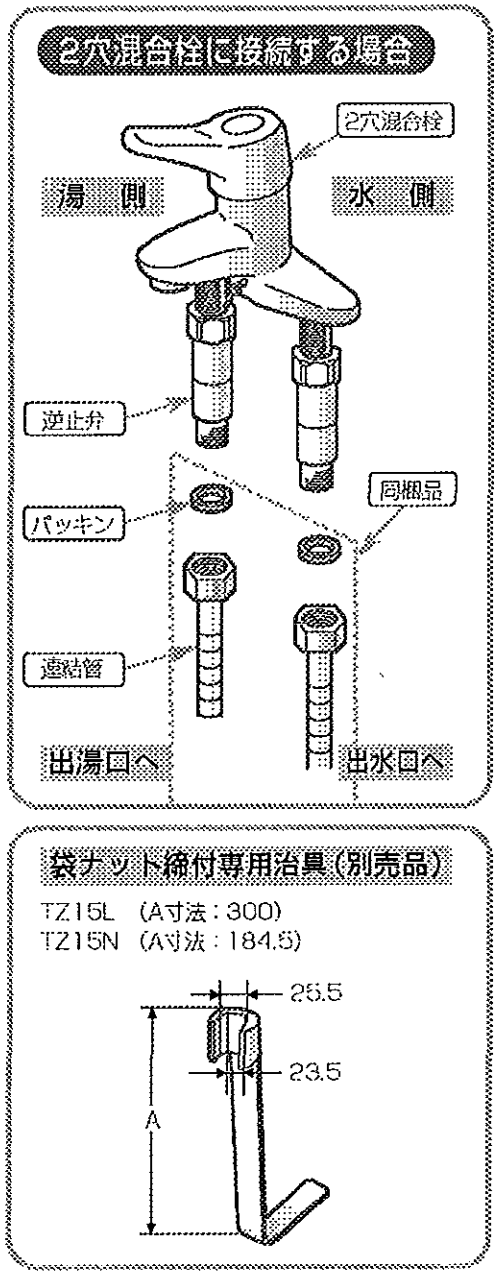
排水ふたのねじ止めができない場合は、市販の両面テープなどで固定してください。

注意 排水金具が汚れている場合、タオルなどでよくふき取って取り付けてください。（水漏れの原因になります）

12 連結管の取り付け（1）

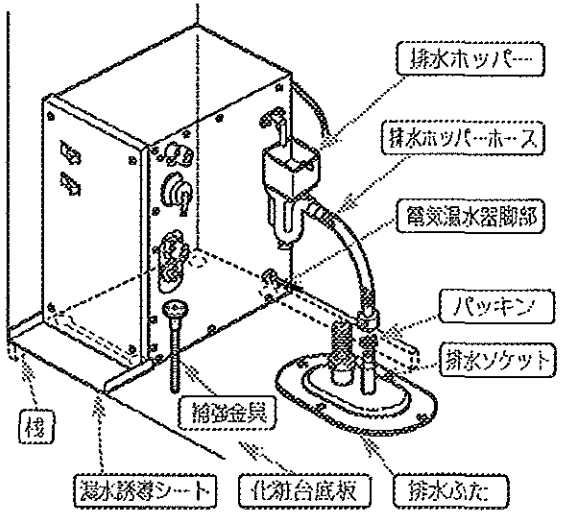
下図の要領で混合栓に連結管を取り付ける。





13 電気温水器本体の設置

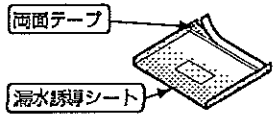
電気温水器本体を洗面化粧台に設置し、排水ホッパーの排水ホッパーホースを排水ソケットに接続する。



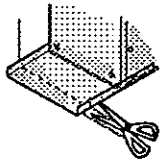
(漏水誘導シートの取り付け)

・右図の線(矢印)に沿って漏水誘導シートを張り付ける。

・漏水誘導シートに張り付けてある両面テープで電気温水器の底面に漏水誘導シートを張り付ける。



・化粧台底板より飛び出ている部分をハサミなどで切り除く。

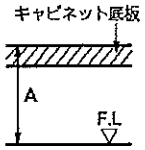


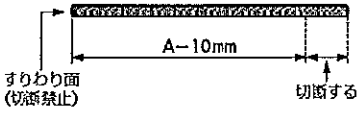
(補強金具の取り付け) RE12SKN・RE12SK1Nのみ

※洗面化粧台の底板の強度が十分でない場合は補強金具を取り付けてください。(補強金具一式については「2 部品の確認」にてご確認ください。)

1. すりわり付き止めねじを、床からキャビネット底板の高さ(A寸法)より10mm短い長さで切断する。

すりわり面の反対側を切断してください。



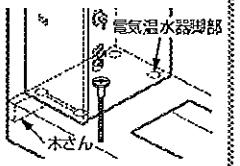


2. 補強金具とすりわり付き止めねじをセットする。

3. 補強金具の取り付け

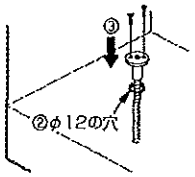
取り付け例

電気温水器を設置してキャビネット底板のたわみが大きい部分に補強金具を取り付ける。



補強金具の取り付け

①金具を取り付ける位置が電気温水器脚部と干渉しないことを確認する。
②補強金具の取付位置にφ12の穴加工をする。このとき、穴がキャビネット底の木さんと干渉しないよう注意してください。
③穴に金具をセットしタッピンねじで底板に固定する。
④すりわり付き止めねじが床に接するように高さを調節する。



注意 排水ホッパーホースは必ず接続口より下方になるよう取り付けてください。
(排水ホッパーから膨張水があふれ家屋に被害が及ぶおそれがあります。)

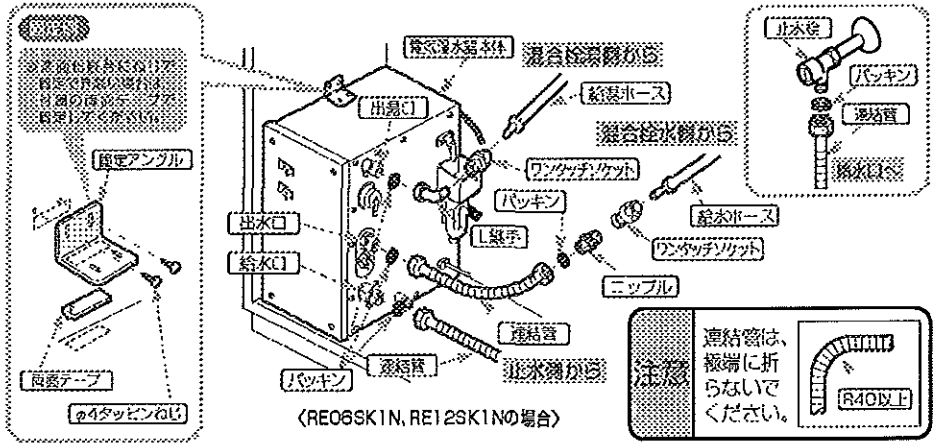
14 連結管の取り付け (2)

注意 電気温水器と止水栓の接続はフレキ管を使用してください。
(鋼管などで接続するとシール剤などが内部に入り作動不良を起こす場合があります。)

⚠ 注意

給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開けバケツ2杯(約20L)程度の水を捨てる
(フィルターを通ったゴミが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。)

下図の要領で連結管を電気温水器本体および止水栓に取り付ける。
※混合栓に接続した連結管は、あらかじめ曲げておくと取り付けが容易に行えます。



(RE06SK1N, RE12SK1Nの場合)

注意 連結管は、極端に折らないでください。 R40以上

15 電源コードの取り出し

電源コードおよびアース線を洗面化粧台の穴から取り出し、同梱のコードキャップを取り付ける。

16 電気工事

⚠ 警告

電気工事は、関連する法令、法規に従って必ず「有資格者(電気工事士)」が行い、アース(D種接地工事100Ω以下)工事を行う
また、漏電遮断器を取り付ける
(誤った工事を行うと故障や漏電の時に感電するおそれがあります。)

指定する電源以外では使用しない
(ヒーターの断線・火災などの原因になります。)

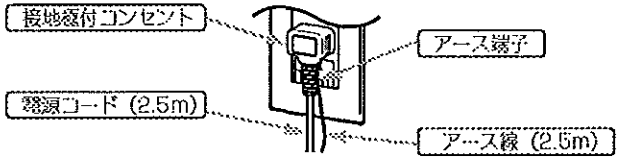
1）コンセントの設置

●電気温水器の消費電力は、RE06SKNが600W、RE12SKNが505Wです。
容量が足りない場合は、専用のコンセントを設ける。

●電気温水器の電源コードの長さは、2.5mです。電源コードの届く範囲内に既設のコンセントがなければ、専用のコンセントを設ける。

2）アース工事

●電気温水器のアース線をアース端子に必ず接続する。



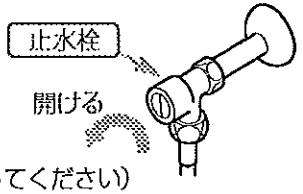
17 試運転

⚠注意

タンクが空のときは、絶対に電源スイッチを入れない
（空焚きとなり、故障や事故の原因になります。）

1）電気温水器への給水

①止水栓を開ける。
※給水管に塩ビ管を使用している場合は、接着剤が完全に乾いてから通水してください。
（湯からにおいがするおそれがあります）

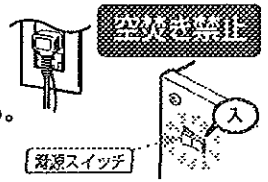


②混合栓の水側を閉め、湯側を全開にする。
（シングルレバー混合栓の場合は、レバーを湯側にしてください）
③混合栓から水が出ることを確認し、混合栓を閉める。
（タンクが満水になると混合栓から水が出ます）
④配管接続部および排水トラップからの水漏れがないことを確認する。

2）電気温水器への通電

空焚き禁止

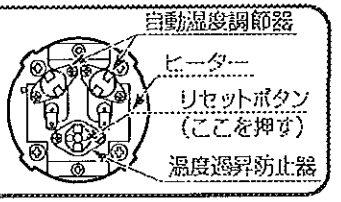
①電源プラグをコンセントに差し込む。
②電源スイッチを「入」にし、ランプが点灯することを確認する。
③電源スイッチを「切」にし、電源コードを抜く。
（電源スイッチを「切」にするとランプは、消灯します）



上水道のフィルターにゴミが溜まると流量の原因になる事
清掃時は、フィルターの清掃をしてください
（清掃のやり方は、取扱説明書を参照してください）

※減圧弁・逃し弁は消耗部品です。劣化により機能の低下や水漏れする可能性があります。必ず定期的に交換するよう、お客様に説明してください。（交換の目安：5年）

※万一空焚きした場合は、以下の手順で電気温水器内の温度過昇防止器のリセットボタンを押せば復帰します。
①電源スイッチを「切」にする。
②電源プラグを引き抜く。
③タンク内に水を入れて、タンクの温度を下げる。
④前面パネルを取り外し、右図のリセットボタンを押す。



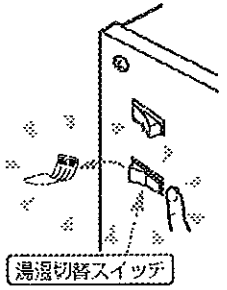
3）沸き上がり温度の変更

初期設定の場合

初期設定は60℃となっています。湯温切替スイッチに張り付けてあるラベルははがさずに、そのままお使いください。

沸き上がり温度の場合

湯温切替スイッチに張り付けてある湯温切替ラベルをはがして湯温切替スイッチを75℃に切り替えてください。



18 機器内の水抜き方法

⚠注意

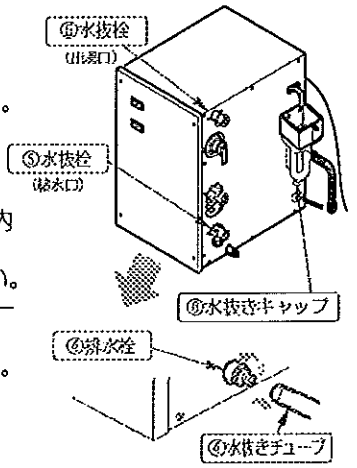
凍結のおそれがある場合は、電源プラグを抜いてタンク内の湯を抜く
（凍結破損し、水漏れするおそれがあります。）

①電源スイッチを「切」にし、電源コードを抜く。
②混合栓の水側および湯側を開け、タンク内の湯を完全に出し切る。
タンク内に湯が残っているとやけどをするおそれがあります。
③止水栓を閉める。
④同梱の水抜きチューブを機器本体の排水栓に接続し、排水を開け、タンク内の水を抜く。
注 水を抜く際は、必ず受け皿などで受けてください。

〔水抜き時間〕

6L	12L
約6分	約12分

⑤出湯口の水抜栓および給水口の水抜栓を開け、連結管内の水を抜く。
注 水を抜く際は、必ず受け皿などで 受けてください。
⑥排水ホッパーの水抜きキャップを外し、排水ホッパー内の水を抜く。
注 水を抜く際は、必ず受け皿などで受けてください。
⑦水抜きが完了したら機器本体の水抜栓排水栓および排水ホッパーの水抜きキャップを閉める。



配管の凍結予防

●電源スイッチが「入」の状態でも配管が凍結する場合は、必ず給水、出水、出湯側の各連結管と排水管に保温材または、ヒーターを巻いてください。